様式１-1（推薦団体用）　　　　　　　名医の郷が贈る やぶ医者大賞応募用紙　　　　　　　　　記入例

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | | | | 申込年月日 | 令和　　年　　月　　日 |
| フリガナ | **ヤブ　　　　　イチロウ** | | 性  別 | **男** | | 生年月日 | 昭和　・　平成  49年４月10日  （Ｒ6.4.1時点　49歳） |
| 候補者氏名 | **養　　父　　一　朗** | |
| フリガナ | **ヤブシリツ　ヤブシンリョウショ** | | | | | 職名 | **所　長** |
| 勤務先名 | **養父市立　養父診療所**  ＊正式名称を省略せずに記載してください。 | | | | |
| 候　補　者  連　絡　先 | 〒**667-0351**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL:**079-662-3165**  **兵庫県養父市八鹿町八鹿1675**　　　　　　　 　FAX:**079-662-2601**  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail:**yabusin@city.yabu.ｌｇ.ｊｐ** | | | | | | |
| 勤務先市町人口/世帯数  65歳以上高齢化率 | **21,458**人／**9,111**世帯（**R6.1**）  **40.12**％(**R6.1**) | 勤務先  運営形態 | | | 公立  民間  その他（　　　　　　　　　） | | |
| フリガナ | **ヒョウゴケン　ヤブシ** | フリガナ | | | | **ヤブシチョウ　ヒロセ　サカエ** | |
| 推薦団体名 | **兵庫県　養父市** | 推薦団体  代表者名 | | | | **養父市長　広　瀬　　栄**  印 | |
| 推薦団体  連絡先 | 〒**667-0351**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL:**079-662-3161**  **兵庫県養父市八鹿町八鹿1675**　　　　　　　 　FAX:**079-662-7491**:  　　　（担当者名：**八鹿太郎**　）　　　　　 　　　　　　　 E-mail: **yabusin@city.yabu.ｌｇ.ｊｐ** | | | | | | |
| 年　　　月 | 学　　歴　　・　　職　　歴 | | | | | | |
| **平3年3月** | **やぶ医者大学医学部卒業** | | | | | | |
| **平3年4月** | **やぶ医者大学附属病院内科勤務** | | | | | | |
| **平12年4月** | **公立但馬中央病院内科勤務** | | | | | | |
| **平15年4月** | **養父市立　養父診療所勤務** | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
| 年　　　月 | 賞　　　　　　　　　罰 | | | | | | |
|  |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | |

様式1-2（推薦団体用）　　　　　　　　　　やぶ医者大賞推薦理由書　　　　　　　　　　　　　　　記入例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ | **ヤブ　　　　　イチロウ** |  |
| 候補者氏名 | **養　　父　　一　朗** |
| 地域の現状等、以下の①～③に記入をお願いします。  以下のスペースで自由に記載してください。ただし、文字はＭＳＰゴシックの12ポイントで、　１ページに収めてください。 | | |
| 1. **地域の現状、医療体制の状況**】   診療所のある○○市××地区は、人口約２，０００人。交通の不便な山間部で、６５歳以上の高齢者が●％を占める。  診療所は昭和●年に開設し、当初は地元出身の医師が勤務していたが高齢により引退。平成●年より同医師が着任された。  同地区内には他に医療機関はなく、地区内ただ一人の医師である。  　一番近隣の医療機関へは車で１時間程度かかる。   1. **候補者の活動と地域への貢献】**   平成●年に就任した１年後には、診療所の隣に建設された通所介護施設の施設長も兼務し、医療と介護が一体となった取り組みを実践。  　緊急性がある夜間や休日の対応には時間外の電話を個人の携帯に転送し、24時間連絡が取れるよう手厚い医療に努めている。  へき地医療に関しても意識が高く、月１回、片道４０分かけて地区内の限界集落に出向き、約20人の地域住民のために往診を行っている。さらに、災害により区域内の交通機能が麻痺した際には、車両通行不可能区間を徒歩により移動し、広範囲に診察をするなど、献身的な活動もされた。   1. **候補者の人柄**】   （＊具体的な事例を交えて記述してください。）  　誰もが認める真面目・温厚な人柄。  　患者さんが冗談で言った一言も真剣に受け止め、何事にも一生懸命取り組まれる。  　「我が家の畳の上で死にたい。」と言われた患者さんのつぶやきに対し、家族を説得し、家の受け入れ体制の整備、準備等に尽力し、患者・家族の負担を減らし家庭で看取ることができた。葬儀後、家族から感謝の手紙と、故人と過ごした時間を写真で綴ったのアルバムを思い出として贈られた。 | | |

※　顔写真１枚、取り組みの内容がわかる写真３点を提出してください。

※　取り組みの内容が紹介された新聞記事等がありましたら、Ａ４サイズで提出してください。（3点以内）

※　応募用紙及び添付書類は、事務局あてに郵送していただくとともに、メールにて送信してください。（＊ワードのまま。）